

2025年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	クリエイト科	コース	A・Pコース	学年・年次	2年
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
国語	言語文化	2	2	長谷川 忍			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
新編言語文化		東京書籍		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	⑬①②⑨④⑰	面接時数	全実施時間数	35時間	
	報告課題集				標準面接時数	2 時間	
定期試験	年間・学期 2 回	評定算出方法	観点①、②を試験成績として8割、③を2割とし総合的な評価とする。				
定期試験の評価割合	70%						

指導目標

言語活動を通して、的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。
①会話、行動の描写、表現に注意しながら、登場人物の心情とその変化を読み取り、小説に親しむ。
②短歌や詩の形式、表現技法を理解し、深く読み味わう力を養うとともに、実際に短歌を詠む。
③古文の説話のおもしろさを味わい、論語の孔子の考えを捉え、ものの見方や考え方を豊かにする。

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択 番号	提出日		
4	5	漢詩 漢詩を味わう 絶句と律詩七首 「春暁」「贈汪倫」	1	⑯	5月8日	<div>↑</div> <div>↓</div>	
5		小説 触れ合う心 「とんかつ」	2	①	6月12日		
6	4	詩歌 命をうたう 「柳あをめる」【短歌】	3	②	7月10日		
7							
9	7	前期試験対策 古文入門 古文の世界へ 宇治拾遺物語「児のそら寝」	4	⑨	11月6日		
10							
11		詩歌 命をうたう 「冬が来た」					
12	6	論語 論語の言葉 論語八章「学ぶということ」	6	⑰	2月5日		
1							
2	2	後期試験対策					
3	3	一年のまとめ					

2025年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	クリエイト科	コース	A・Pコース	学年・年次	1年
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
国語	現代の国語	2	2	長谷川 忍			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
新編現代の国語		東京書籍		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	⑪⑤②④⑩⑫	面接時数	全実施時間数	35時間	
	報告課題集				標準面接時数	2 時間	
定期試験	年間・学期 2 回	評定算出方法	観点①、②を試験成績として8割、③を2割とし総合的な評価とする。				
定期試験の評価割合	70%						

指導目標

言語活動を通して、的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。
①評論文を読み、意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかむ。
②筆者の体験や考えをもとに、社会との関わり方や次代を担う自分たちの役割について考える。
③手紙、メールの書き方や原稿用紙の正しい使い方を学習し、実践によって理解を深める。

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択 番号	提出日		
4	4	手紙・メールの書き方	1	⑪	5月1日	<div>↑</div> <div>↓</div>	
5							
6							
6	5	世界とつながる 「りんごのほっぺ」	2	⑤	6月5日		
7							
7	5	他者に出会う 「未来をつくる想像力」	3	②	7月10日		
9							
10	7	前期試験対策 社会と関わる 「鍋洗いの日々」	4	④	11月6日		
11							
12	4	原稿用紙の使い方	5	⑩	12月11日		
1							
2	3	漢字の読み書き	6	⑫	1月22日		
3							
2	2	後期試験対策					
3							
3	5	一年のまとめ					

2025年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	普通科	コース	ペット・アートコース		学年・年次	1年
教 科	科 目	単位数	標準単位数		担当者			
公民	公共	2	2		高柳 学			
教科書名		出版社	学習書		学習期間			
公共		東京書籍	公共		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	③④⑤⑥⑬⑭		面接時数	全実施時間数	時間	
	報告課題集					標準面接時数	2 時間	
定期試験	年間・学期 2 回	評定算出方法	試験成績80点・平常点20点を満点とした総合成績に基づき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。					
定期試験の評価割合	80%							
指導目標								
人間と社会について様々な角度から考察し、現代社会に主体的に生きる力を養う。 ①先哲の思想や政治・経済のしくみを理解し、学んだことを利用できる力をつける。 ②現代の諸問題について、事実に基づきとらえ公正に判断する力をつける。 ③日常起きている社会の諸問題に関心を持ち、自分自身の問題としてとらえる力をつける。								

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	4	・社会的な関係の中で生きる人間 ・功利主義と幸福の原理 ・義務論と公正の原理 ・生命倫理について考える ・環境倫理について考える	1	③	5月7日		
5	4	人間としての在り方生き方の探求―先哲の思想に学ぶ― ・哲学と人間としての在り方生き方 ・近代科学の考え方 ・民主社会と自由を求めて					
6	3	・民主主義とは ・立憲主義とは		④	6月18日		
7	3	・人権保障の意義と展開 ・日本国憲法の基本原理	3	⑤	7月16日		
9	4	・民主政治と政治参加 ・法と社会規範の役割 ・市民生活と法 ・司法のしくみと役割	4	⑥	9月17日		
10	4	・現代の経済と市場 ・市場経済における金融の働き ・財政の役割と働き、課題 ・社会保障の考え方と課題	5	⑬	10月22日		
11	3	・働くことの意義と職業選択 ・労働者の権利と雇用・労働問題					
12	3	・国際社会のルールとしくみ ・国際連合の役割 ・日本の平和主義と冷戦	6	⑭	12月10日		
1	2	国際平和への課題 ・現代の紛争とその影響 ・平和な国際社会に向けて					
2	3	・貿易のしくみ ・国際金融のしくみと動向 ・グローバル化と今日の国際経済					
3	1	・国際経済の諸課題					

2025年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	普通科	コース	ペット・アート	学年・年次	2年
教科	科目	単位数	標準単位数	担当者			
地理・歴史	歴史総合	2	2	高柳 学			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
新歴史総合		第一学習社	新歴史総合	通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	⑤⑥⑧⑪⑫⑬	面接時数	全実施時間数	時間	
	報告課題集				標準面接時数	2 時間	
定期試験	年間・学期 2 回	評定算出方法	試験成績80点・平均点20点を満点とした総合成績に基づき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	80%						
指導目標							
日本の歴史と各国の歴史がどのように結びつき発展してきたかを考察し、国際社会に主体的・平和的に生きる力を養う。 ①世界各国が様々な形で発展を遂げたことを理解するなかで、日本は各国とどのように関わりながら変遷していったかを考察する。 ②世界各国と日本の歴史の動きのなかで起こったでき事などを事実や背景に基づいて考察し、公正に判断できる力をつける。 ③世界で日々起きているでき事と自分自身とのかかわりに関心を持つ。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択 番号	提出日		
4	5	・清がアジアに君臨した ・東アジアは成熟期を迎えた ・イギリスの影響力が世界に及んだ ・アメリカは内乱を経て国民統合を果たした ・清と日本が開港を迫られた	1	⑤	5月7日		
5	5	・清と日本は外圧に対応した ・日本の国境・領土が定まった ・日本も立憲国家となった ・日本は、初の大規模な対外戦争を起こした ・日露戦争に世界が注目した					
6	3	・韓国は植民地となり、清は倒れた ・糸が支えた産業革命 ・何のために学ぶのか	2	⑥	6月18日		
7	3	・全てが戦争に巻き込まれた ・世界は国際協調を模索した ・第一次世界大戦がアジアにもたらしたもの	3	⑧	7月16日		
9	4	・朝鮮・中国の民衆が立ち上がった ・空前の繁栄の光と陰 ・恐慌の嵐が吹き荒れる ・大衆は新たな勢力に期待をかけた	4	⑪	9月17日		
10	3	・日本と中国の対立が深まった ・世界は戦争の道を歩みはじめた ・再び世界大戦がはじまった	5	⑫	10月28日		
11	2	・戦争が終わった ・新しい世界秩序が築かれた	6	⑬	12月10日		
12	3	・日本は連合国に占領された ・冷戦の影響は東アジアにも及んだ					
1	2	・日本は新たな道を歩みはじめた ・アジア・アフリカの国々が独立した					
2	2	・核戦争に危機に世界が恐怖した ・奇跡の高度成長がはじまった					
3	2	・世界を揺るがした二つのショック ・グローバル化の光と陰					

2025年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校		学科	普通科	コース	ペット・アート・ファッションコース		学年・年次	3年	
教科	科目		単位数	標準単位数		担当者				
地理・歴史	地理総合		2	2		高柳 学				
教科書名			出版社	学習書		学習期間				
地理総合			帝国書院	地理総合		通年				
レポートの種類	一般レポート 報告課題集		選択レポート	③⑦⑨⑪⑬⑯		面接時数	全実施時間数	時間		
定期試験	年間・学期	2回	評定算出方法	試験成績80点・平均点20点を満点とした総合成績に基づき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。						
定期試験の評価割合	80%									
指導目標										
私たちの生活の基盤である世界や日本の自然や文化を考察し、グローバル化された今日の世界で主体的に生きる力を養う。										
①世界の諸地域には、その特色を生かした生活や産業をあることを理解し認識を深める。										
②各国は経済成長に伴い大きく生活が変化していることを理解する。										
③社会の発展とともに生み出されてきた様々な問題について認識し、自らがどのように関わっていくのか考察する。										
月	指導時数	単元・学習内容				レポート指導			試験範囲	備考
						回数	選択 番号	提出日		
4	3	・世界の地形 ・地形と生活 ・日本の地形と生活				1	③	5月8日		
5	4	～世界の気候と生活～ ・熱帯、乾燥帯の人びとの生活 ・温帯、亜寒帯・寒帯の人びとの生活								
6	3	ー東南アジア諸国ー ・モンスーンで影響を受ける地域での生活 ・気候を生かした農業と人びとの生活				2	⑦	6月19日		
7	3	～世界の産業と人びとの生活～ ・人びとの生活を支える農業の発展 ・人びとの生活を支える工業の発展 ・産業のグローバル化と日本				3	⑨	7月17日		
9	3	経済成長による人びとの生活の変化 ー東アジア諸国ー ・経済成長による中国の生活の変化 ・経済成長による韓国の生活の変化				4	⑪	9月25日		
10	4	・世界に大きな影響力を持つ知識産業と資源 ーアメリカ合衆国ー ・EU統合と人びとの生活 ーヨーロッパー				5	⑬	11月13日		
11	3	～地球的課題～ ・相互に関連する地球的課題 ・持続可能な開発目標(SDGs)について ・地球環境問題								
12	3	・日本の自然環境 ・地震、津波と防災								
1	2	・資源、エネルギー問題 ・人口問題								
2	2	・食料問題 ・都市、居住問題								

2024年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	クリエイト科	コース	ペット・ファッション・アート	学年・年次	1年
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
数学Ⅰ	数学Ⅰ	1	1	入海 友嘉			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
数学Ⅰ		東京書籍	数学Ⅰ	通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	①②③④⑬⑭	面接時数	全実施時間数 35 時間		
	報告課題集				標準面接時数 時間		
定期試験	年間・学期 2 回	評定算出方法	試験成績70点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	70%						
指導目標							
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を養う。 ①数と式、図形と計量について基本的な原理、法則を理解するとともに数学的に問題を処理する技能を身に着ける。 ②日常生活における問題を解決するために数学をどのように応用させるのかの思考・判断する力を養う。 ③数学を活用しようとする態度、粘り強く考える姿勢を身に着ける。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択 番号	提出日		
4	3	数と式 単項式と多項式 次数と係数 指数法則 多項式と連立方程式	1	①	4月30日	<div>↓</div>	
5	3	因数分解 共通因数のくり出し 因数分解の公式 たすき掛け	2	②	5月31日		
6	4	実数 根号を含む式の計算 平方根 平方根の積と商 分母の有利化 演習	3	③	6月30日		
7	3	数と式 復習 前期試験対策 前期試験対策					
9	4	前期試験 前期試験返却と解説 実数 既約分数 有限小数・無限小数・循環小数 有理数と無理数の違い	4	④			
10	4	絶対値 演習			10月15日		
		図形と計量 鋭角の三角比 直角三角形と三角比	5	⑬			
11	4	30°、45°、60°の三角比 三角比の値 演習			11月15日		
		直角三角形の辺と角 三角比の相互関係 90°－Aの三角比	6	⑭			

2025年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	クリエイト	コース	P,F,A	学年・年次	1	
教 科	科 目	単位数	標準単位数		担当者			
理科	生物基礎	1	2		丹羽			
教科書名		出版社	学習書		学習期間			
生物基礎		東京書籍	ニューサポート		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	②④⑧⑩⑫⑭		面接時数	全実施時間数35時間 標準面接時数 8時間		
	報告課題集							
定期試験	年間・学期 2 回	評定算出方法	試験成績70点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。□ □					
定期試験の評価割合	70%							
指導目標								
理科とは、観察や実験の結果にもとづいて、自然界のさまざまな事物や現象にひそむ因果関係を解き明かすものである。 ①自然の事物・現象に対する概念や原理・法則の理解、科学的に探究するために必要な観察・実験等の技能。 ②科学的に探究する力 ③科学的に探究しようとする態度								
月	指導時数	単元・学習内容			レポート指導		試験範囲	備考
					回数	選択番号		
4	3	生物の多様性と共通性 生物の世界の見方 生物の特徴 細胞の多様性						
5	3	生命活動を支える代謝 物質とエネルギー エネルギーの受け渡しをするATP 代謝を進める『とそのはたらき 光合成 呼吸			1	②	5月25日	
6	5	葉緑体とミトコンドリアの起源 細胞内共生説とは何か 遺伝子とそのはたらき 生物とその遺伝子 DNAの構造 子はなぜ親に似ているだろうか DNAの構造は細胞のどこにあるのだろうか DNAはどのような物質からできているのだろうか			2	④	6月15日	
7	2	DNAと遺伝子 DNAとゲノムの関係 細胞分裂における DNAの複製と分配について考える						
8								
9	4	DNAの倍加、細胞周期とは何か 遺伝子とタンパク質の合成のメカニズムについて考える			3	⑧	9月28日	
10	4	DNAとタンパク質の合成 遺伝子の発現と生命現象 生物の体内環境の維持について考える 体内環境の維持 恒常性と血液 血液とガス交換						
11	5	肝臓、腎臓について考える 尿について 体内環境を保つしくみについて考える 自律神経系による調節 ホルモンによる調節			4	⑩	11月9日	
12	2	自律神経系と内分泌系による協同作業 血糖値、体温の調節 体内環境を守るしくみ 免疫のシステムについて調べる			5	⑫	12月7日	
1	3	免疫 について 自然免疫 適応免疫の発動 細胞性免疫について考える						
2	4	免疫とヒト 感染症の予防 免疫反応の異常による病気 植生の多様性と遷移 生態系			6	⑭	2月1日	
3	1	植生と生態系 植生の役割は何か 森林の植生と多様性						

2025年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	クリエイト	コース	P・A	学年・年次	1
教 科	科 目	単位数	標準単位数		担当者		
理科	科学と人間生活	1	2		丹羽		
教科書名		出版社	学習書		学習期間		
科学と人間生活		第一学習社	ネオパルノート		通年		
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	①②③④⑤⑥		面接時数	全実施時間数35時間	
	報告課題集					標準面接時数 8時間	
定期試験	年間・学期 2 回	評定算出方法	試験成績70点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。□ □				
定期試験の評価割合	70%						
指導目標							
理科とは、観察や実験の結果にもとづいて、自然界のさまざまな事物や現象にひそむ因果関係を解き明かすものである。 ①自然の事物・現象に対する概念や原理・法則の理解、科学的に探究するために必要な観察・実験等の技能。 ②科学的に探究する力 ③科学的に探究しようとする態度							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	3	物質を科学する 材料とその利用 プラスチックの構造、性質、用途、 3R 金属の構造、性質、用途、					
5	3	衣料と食品 繊維(天然繊維と化学繊維)の構造と染色 生命を科学する タンパク質、遺伝子とDNA、血糖濃度、病原体の排除、ヒトの視覚と光 身近な微生物 微生物の発見	1	①	5月31日		
6	4	生態系内の微生物 食品と微生物 医薬品と微生物 微生物の利用の広がり 温度と熱運動 熱容量と比熱	2	②	6月28日		
7	2	熱の伝わり方 仕事や電流と熱の発生 エネルギーの移り変わり エネルギー資源の有効活用					
8							
9	4	光の発生と速さ 光の反射・屈折 光の分散 光の発生と速さ 光の散乱	3	③	9月27日		
10	4	光の回折・干渉・偏光 電磁波の種類とその利用、どんな用途があるか	4	④	10月25日		
11	5	日本列島のなりたちはどうか 火山活動と地表の変化 日本の活火山にはどんなものがあるか	5	⑤	11月29日		
12	2	火山災害と防災 地震活動と地表の変化					
1	3	地震災害と防災 水のはたらきと地表の変化 気象災害と防災	6	⑥	1月31日		
2	4	太陽と太陽系 いつごろ誕生し、どんな構成にまっているか 太陽系を構成する天体 太陽と人間生活					
3	1	天体の動き 太陽と月の動き 太陽の動きと太陽暦					

2025年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	体育	コース	A・Pコース		学年・年次	1 年
教 科	科 目	単位数	標準単位数		担当者			
保健体育	体育	1	1		前田 節夫			
教科書名		出版社	学習書		学習期間			
現代高等保健体育		大修館	現代高等保健体育		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	①②③		面接時数	全実施時間数 31時間		
	報告課題集					標準面接時数 15時間		
定期試験	年間 ・ 学期 2 回	評定算出方法	試験成績80点・平常点20点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。					
定期試験の評価割合	80%							
指導目標								
人間とスポーツの在り方についての見方、考え方をはたらかせ、スポーツについて多面的・多角的に考察し、スポーツとともに生きる力を養う。 ①スポーツの始まりや価値・意義、経済活動について知識を身に付ける。 ②スポーツにおける諸問題を事実にもとに多面的に考察し公正に判断する力を養う。 ③生涯にわたってスポーツの果たす役割を自覚して、ライフステージに取り込む自覚を深める。								

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択 番号	提出日		
4							
5	5	・オリエンテーション、レポート用紙配布 ・実技指導				↑	
6	2	・スポーツの始まりと変遷 ・文化としてのスポーツ	1	①	6月11日		
7	7	・前期考査対策（復習） ・スポーツレクリエーション会Ⅰ				↓	
9	3	・前期考査 ・考査返却及び解説					
1 0	2	・オリンピックとパラリンピックの意義 ・スポーツが経済に及ぼす効果	1	②	10月29日	↑	
1 1	7	・スポーツレクリエーションⅡ ・スポーツの高潔さとドーピング ・スポーツと環境	1	③	11月19日	↓	
1	3	・後期考査対策（復習） ・後期考査					
2	2	・考査返却及び解説					

2025年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	体育	コース	A・Pコース		学年・年次	2年
教 科	科 目	単位数		標準単位数		担当者		
保健体育	体育	1		1		前田 節夫		
教科書名		出版社		学習書		学習期間		
現代高等保健体育		大修館		現代高等保健体育		通年		
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	④⑤	面接時数	全実施時間数	25時間		
	報告課題集				標準面接時数	10時間		
定期試験	年間 ・ 学期 2 回	評定算出方法	試験成績80点・平常点20点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。					
定期試験の評価割合	80%							
指導目標								
人間とスポーツの在り方についての見方、考え方をはたかせ、スポーツについて多面的・多角的に考察し、スポーツとともに生きる力を養う。								
①技術や戦術、ルールの変化について知識を身に付ける。								
②練習によって技能が上達することを多面的に考察し、適切に判断する力を養う。								
③生涯にわたってスポーツの果たす役割を自覚して、ライフステージに取り込む自覚を深める。								

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	2	・オリエンテーション、レポート用紙配布				↑ ↓	
5	3	・体育実技					
6	2	・スポーツにおける技能と体力 ・スポーツにおける技能と戦術	1	④	5月14日		
7	7	・スポーツにおける技能と体力 ・スポーツにおける技能と戦術 ・スポーツレクレーションⅠ					
9	1	・前期考査					
11	7	・技術の上達過程と練習 ・効果的な動きのメカニズム ・後期考査対策 ・スポーツレクレーションⅡ	1	⑤	11月12日	↑ ↓	
1	1	・後期考査					
2	2	・考査返却及び解説					

2025年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	体育	コース	A・Pコース		学年・年次	3年
教 科	科 目	単位数		標準単位数		担当者		
保健体育	体育	1		1		前田 節夫		
教科書名		出版社		学習書		学習期間		
現代高等保健体育		大修館		現代高等保健体育		通年		
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	⑥⑦		面接時数	全実施時間数	23時間	
	報告課題集					標準面接時数	10時間	
定期試験	年間 ・ 学期 2 回	評定算出方法	試験成績80点・平常点20点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。					
定期試験の評価割合	80%							
指導目標								
人間とスポーツの在り方についての見方、考え方をはたらかせ、スポーツについて多面的・多角的に考察し、スポーツとともに生きる力を養う。								
①体力や戦術やトレーニングの方法について知識を身に付ける。								
②運動によって健康やケガ・病気をすることを多面的に理解し、適切に判断する力を養う。								
③生涯にわたってスポーツの果たす役割を自覚して、ライフステージに取り込む自覚を深める。								

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択 番号	提出日		
4	2	・オリエンテーション、レポート用紙配布				↑	
5	3	・体育実技					
6	2	・体力トレーニング ・運動やスポーツでの安全の確保	1	⑥	6月12日		
7	8	・スポーツレクリエーションⅠ				↓	
9	3	・前期考査 ・考査返却及び解説				↑	
1 1	7	・生涯スポーツの見方・考え方 ・スポーツレクレーションⅡ	1	⑦	11月13日		
1	1	・後期考査					

2025年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	保健	コース	A・Pコース		学年・年次	2年
教 科	科 目	単位数		標準単位数		担当者		
保健体育	保健	1		1		前田 節夫		
教科書名		出版社		学習書		学習期間		
現代高等保健体育		大修館		現代高等保健体育				
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	①②③	面接時数	全実施時間数		12時間	
	報告課題集				標準面接時数		1時間	
定期試験	年間 ・ 学期 2 回	評定算出方法	試験成績80点・平常点20点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。					
定期試験の評価割合	80%							
指導目標								
現代社会と健康についての見方、考え方を考察し、現代の諸課題について、多面的・多角的に健康で生きる力を養う。								
①健康の考え方や成り立ち・健康水準などや健康問題について考察できる能力を身につける。								
②生活習慣を理解するとともに健康との関連に考察し適切に判断する力を養う。								
③健康維持、社会問題と健康への影響を自覚するとともに実践できる能力を身につける。								

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
5	2	・健康の考え方となりたち ・私たちの健康のすがた ・生活習慣病と予防回復 ・がんの原因と予防、がんの治療と回復	1	①	5月14日	↑	
6	2	・運動と健康 ・食事と健康 ・休養・睡眠と健康	1	②	6月18日	↓	
9	3	・前期考査 ・喫煙と健康				↑	
10	2	・喫煙と健康 ・飲酒と健康	1	③	10月22日	↑	
1	2	・薬物乱用と健康 ・後期考査対策（復習）				↓	
2	1	・後期考査					



2025年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	保健	コース	A・F・Pコース
教 科	科 目	単位数		標準単位数	
保健体育	保健	1		1	
教科書名		出版社		学習書	学習
現代高等保健体育		大修館		現代高等保健体育	通
レポートの種類	一般レポート	選択レポート		⑦⑧⑨	面接
	報告課題集				
定期試験	年間 ・ 学期 2 回	評定算出方法		試験成績80点・平常点20点を満点 で定める得点区分に従って算出する	
定期試験の評価割合	80%				
指導目標					
現代社会と健康について考察し、現代の諸課題について、多面的・多角的に健康で生きる力を養う。					
①健康と家庭の健康問題について考察できる能力を身につける。					
②高齢社会の課題を理解するとともに健康との取り組み方を考察し適切に判断する力を養う。					
③環境問題の健康への影響と環境対策について、自覚するとともに実践できる能力を身につける。					

月	指導時数	単元・学習内容	回数
5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージと健康 ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・妊娠・出産と健康 ・避妊法と人工妊娠中絶 ・結婚生活と健康 	1
6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・中高年期と健康 ・働くことと健康 ・動労災害と健康 ・健康的な職業生活 	1
9	3	<ul style="list-style-type: none"> ・前期考査対策（復習） ・前期考査 	
10	2	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染と健康 ・水質汚濁・土壌汚染と健康 ・環境と健康にかかわる対策 ・ゴミ処理と上下水道の整備 	1
12	2	<ul style="list-style-type: none"> ・健康被害の防止と環境対策 	
1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・後期考査 	



	学年・年次	3 年
担当者		
前田 節夫		
期間		
年		
時数	全実施時間数	12時間
	標準面接時数	1時間
<p>点とした総合成績にもとづき、単位認定基準 となる。</p>		

ポータル指導		試験範囲	備考
選択 番号	提出日		
⑦	5月8日		
⑧	6月26日		
			
⑨	10月16日		

- ①ライフスタイルと健康 思考・行動・習慣
妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶
②中高年期と健康 働くことと健康
③大気汚染と健康 水質汚濁、ごみの処理と上下水道の整備



早期と健康 性意識と性行動の選択

人工中絶 結婚生活と健康

と健康 労働災害と健康 健康的な職業生活

土壌汚染と健康 環境と健康にかかわる対策

2025年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	クリエイト科	コース	P・Aコース	学年・年次	1
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
芸 術	美術 I	2	2	飯田 邦彦			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
美術 I		光村図書		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	①②③④⑤⑥	面接時数	全実施時間数 35時間		
	報告課題集				標準面接時数 8時間		
定期試験	年間・学期 0 回	評定算出方法	レポート作品を70点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	0%						
指導目標							
美術の幅広い制作活動を通して、日々の生活にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、美術の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養う。 ①造形的な視点について理解を深めるとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 ②美しさ、意図と工夫、美術の働きなどについて考え、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 ③創造活動に取り組み、り美術を愛好する心情を育み、感性を高め文化に親しみ、社会を創造していく心を養う。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択 番号	提出日		
4	8	美術史 西洋の芸術運動・芸術様式 日本美術史 それぞれの個性を理解し、模写する。	1	⑥	5月31日		
5							
6	7	空間表現 実際の風景・実際の風景を見ながら写生する。 線遠近法(透視図法) 空気遠近法	2	③	8月31日		
7							
8							
9	6	デザイン オリジナルTシャツのデザイン 「伝える」ためのデザイン レタリング・・・デザインの意識をもって文字を描く 明朝体 ゴシック体 サンセリフ セリフ	3	⑤	10月6日		
10	6	色彩 春・夏・秋・冬のイメージをまず線で描き、色彩を使って表現する。 色彩の芸術 色の仕組み 色の感情 色の対比 色と形 色と季節	4	①	11月30日		
11							
12	6	デッサン 手のデッサン 形をとらえる。手の構造を学習し、ふまえたうえで手の形を観察する。 鉛筆の特使を知る。 調子(トーン)を知り、明度差を生かして絵にする。	5	②	1月31日		
1	6	絵画構成(コラージュ) コラージュを使い「建築物」をつくる。 シュールリアリズム 無意識の発想 自由な素材の選択	6	④	2月22日		
2							
3	2	デッサン 身の回りにあるものを描く					

2025年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	クリエイト科	コース	F・P・Aコース	学年・年次	2年
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
芸 術	美術Ⅱ	2	2	鳥谷 浩祐			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
美術2 美Ⅱ701		光村図書		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	6,3,5,1,2,4	面接時数	全実施時間数	35時間	
	報告課題集				標準面接時数	8時間	
定期試験	年間・学期 回	評定算出方法	観点①、②、③をそれぞれ1/3づつ、合計したものを10割とし、総合的な評価とする				
定期試験の評価割合							
指導目標							
(1) 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。 (2) 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。 (3) 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	1	オリエンテーション「美術とは何か」 美術Ⅰの学習を振り返り、美術Ⅱのイメージを持ち、美術の学びの深まりと意味について レポート①「細密に描く」 ・静物(貝殻)を描く	1	①	5月31日		
5		・光と影の表現 観察し、追及する					
6	4	レポート②「色彩表現」 ・風景、人物等の写真を元に色彩表現 ・心の中の風景	2	②	6月30日		
7	4	レポート③「グラフィックデザイン」 ・抽象への誘い 視覚伝達の観点 ・素材と向き合う 不思議な空間を作る	3	③	9月10日		
9							
10	4	デザインレポート④「ストーリーとデザイン」 ・トータルデザインを考える 工夫し、創作する ・制限を設定し、制限に沿った制作をする ・問題解決のためのデザイン	4	④	10月31日		
11		映像メディア表現 レポート⑤映像メディア表現 「資料 アニメーションの歴史」 ・絵コンテによる計画	5	⑤	11月31日		
12		・場面の設定 人物の表現					
1							
2		レポート⑥鑑賞「水の表現」 ・表現方法 ・表現についての資料を用いる					
3		「資料 絵に隠された謎を読み解く」 鑑賞学習	6	⑥	1月31日		

2025年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	クリエイト科	コース	P・Aコース	学年・年次	1
教 科	科 目	単位数	標準単位数		担当者		
英語	英語コミュニケーション1	2	2		森田加寿子		
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
All Aboard English Communication		TOKYO SHOSEKI	英語	通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	①②③④⑤⑥		面接時数	全実施時間数35時間	
	報告課題集					標準面接時数 8時間	
定期試験	年間・学期 2 回	評定算出方法	試験成績80点平常点20点を満点とした総合成績に基づき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	80%						
指導目標							
1ー英語力の基礎を確実に身につけ、英語力で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 2ー世界に日本の良さを発信できる伝統や文化を英語の題材を通して知る。 3ー言葉として英語を使うコミュニケーション活動を豊富に用意して、情報や考えなどを理解したり適切に伝えたりする基礎的な力を養う。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	3	Pre—Lesson1 My Name Is Ito Neko. Pre-Lesson2 I Like Junk Food!					
5	5	Lesson1 Breakfas around theWorld. The verb—to be Negative sentences Interrogatives Regular Verbs Negative sentences Interrogatives	1	①	5月22日		
6	4	Lesson2 Australia’s Cute Quokkas To be able to talk in English about an animal you like. Explain something that is happeniing at a present time. The progressive Continuous Tense	2	②	6月12日		
7	2	Gramme! Review Lesson3 A Train Driver in Sanriku To be able to explain how to travel to a certain place and what You can do there.	3	③	7月10日		
9	3	Lesson3 A Train Driver in Sanriku Talk about something . you can do. The Auxiliary Verbs can ,will.					
10	3	Communication2 Lesson4 A Miracle Mirror Giving Street Directions To be able to speak in English about a place you want to visit. Talk about your plans for the weekend	4	④	10月23日		
11	3	Lesson5 Learning from the Sea To be able to talk in					

			English about your future dream. Talk about something . you enjoyed last week . Gerunds As the object etc.of a verb. Appearing after a preposition.	5	⑤	11月13日		
12	3	Lesson6 A Funny Picture from the Edo Period	To be able to talk in English about a picture you like.	6	⑥	12月11日		
1	3	Lesson6 A Funny Picture from the Edo Period	Explain a passive action, focusing on the person or thing involved. The Passive Voice. When using "by". When not using "by"					
2	3	How to Write an E mail in English Extra Target	How to write. Guess Who? Quiz					
3	2	Let's Listen	Listening Speaking					

2025年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	クリエイト科	コース	P・Aコース	学年・年次
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者		
英語	英語コミュニケーション1	2	2	森田加寿子		
教科書名		出版社	学習書	学習期間		
英語		TOKYO SHOSEKI	英語	通年		
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	⑥⑦⑧⑨⑩⑥	面接時数	全実施時間数35時間	
	報告課題集				標準面接時数 8時間	
定期試験	年間・学期 2 回	評定算出方法	試験成績80点、平常点20点を満点とした総合成績に基づき、単位に従って算出する。			
定期試験の評価割合	80%					
指導目標						
1ー英語力の基礎を確実に身につけ、英語力で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 2ー世界に日本の良さを発信できる伝統や文 る。 3ー言葉として英語を使うコミュニケーション活動を豊富に用意して、情報や考えなどを理解したり適切に伝えたりする基礎的な力を養う。						

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲
			回数	選択 番号	提出日	
4	3	Lesson6 A Funny Picture from the Edo Period To be able to talk in English about a picture you like. Explain a passive action/si'ation focusing on the person or thing involved. The Passive Voice ,When using 'by' ,When not using 'by'	1	⑥	4月24日	
5	5	Lesson 7 A Diary of Hope To be able to talk in English about a pœon you are interested in. Make a comparison between two or more things. Comparative form, Superlative form,Base form	2	⑦	5月22日	
6	4	Lesson 8 A Door to a New Life. To be able to recommmed in English an idea on how bots can make our lives better. Speak about something you have experienced. The present Perfect Tence Something done before ,Something oontinuing to the present,Haviing just finished	3	⑧	6月19日	
7	2	Lesson 9 Fighting Plastic Pollution To be able to describe something you can do in English to protect the environment. Add an explanation about something 'happening /t happened to a person or thing.	4	⑨	7月14日	
9	3	Lesson9 _____ Particles That Follow and Describe No ,Present Particles, Past Particles.				
10	3	Lesson 10 To be able to talk in English about activities that deepen understanding of foreign cultures and societ . Add an explanation about a person and thing. Relative Pronounce ; who, which	5	⑩	10月23日	
11	3	Reading 2 The Wizard of Oz Read Out with Feeling ,	6	⑥	11月27日	
12	3	Over the Rainbow Extra Target 3				
1	3	Grammar Review 4 Tool box Plus				
2	3	Hit the Target! Good at skilled in the target students l ned in the each Pre-Lesson and Lesson from 6 to 10				
3	2	Be free to talk				

2025年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	普通科	コース	F・P・Aコース	学年・年次	1年次
教科	科目	単位数	標準単位数	担当者			
家庭	家庭基礎	1	2	杉森 有美			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
家庭基礎 気づく力 築く未来		実教出版	なし	通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート		面接時数	全実施時間数	32 時間	
	報告課題集				標準面接時数	4 時間	
定期試験	年間・(学期) 1 回	評定算出方法	試験成績80点・平常点20点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	80%						
指導目標							
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。①人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解しているとともに，それらに係る技能を身に付けている。 ②家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を発見し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。 ③よりよい社会の構築に向けて，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考	
			回数	選択 番号	提出日			
4	3	第1章 これからの人生について考えてみよう	1		6月30日	<div>↑</div> <div>↓</div>		
5	4	第2章 自分らしい生き方と家族 1. 自立と共生 2. ライフキャリア						
6	4	3. 共に生きる家族 4. 家族に関する法律						
7	2	第3章 子どもとかかわる 4. 子どもをはぐくむ 5. 子どものための社会福祉	2		7月31日			
9	3	第4章 高齢者とかかわる						
10	5	第6章 食生活をつくる 1. 日本の食文化の形成 2. 私たちの食生活	3		11月30日	<div>↑</div> <div>↓</div>		
11	4	3. 栄養と食品のかかわり 4. 食品の選び方と安全 5. 食事の計画と調理						
12	2	第9章 消費行動を考える	4		12月31日			
1	1	第10章 経済的に自立する	<div>／</div>	<div>／</div>	<div>／</div>			<div>／</div>
2	3	第8章 住生活をつくる						
3	1	生活設計						

2025年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	普通科	コース	F・P・Aコース		学年・年次	1年次			
教 科	科 目	単位数		標準単位数		担当者					
情報	情報Ⅰ	2		2		杉森 有美					
教科書名		出版社		学習書		学習期間					
新編 情報Ⅰ		東京書籍		なし		通年					
レポートの種類	一般レポート	選択レポート				面接時数	全実施時間数 64 時間				
	報告課題集						標準面接時数 4 時間				
定期試験	年間・学期 1 回	評定算出方法		試験成績60点・実技課題30点・平常点10点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。							
定期試験の評価割合	60%										
指導目標											
情報に関する科学的な能力・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。 ①効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。 ②事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。 ③情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。											
月	指導時数	単元・学習内容			レポート指導			試験範囲	備考		
					回数	選択番号	提出日				
4	6	1章 情報で問題を解決する 1.情報とメディアの特性 2.問題解決の流れ 3.発想法 4.情報モラル 5.個人情報の流出			1			<div></div>			
5	8	6.傷つかない傷つけないために 7.著作権 8.情報技術の発展 9.情報化と私たちの生活の変化 10.よりよい情報社会へ プレゼンソフトの操作								5月31日	
6	8	2章 情報を伝える 11.コミュニケーション手段の変化 12.ネットコミュニケーションの特徴 13.デジタルの世界 14.数値と文字のデジタル表現 15.音と画像のデジタル表現			2						
7	4	16.色と動画のデジタル表現 17.目的に応じたデジタル化 文書処理ソフトウェアの操作								6月30日	
9	6	18.情報デザイン 19.ユニバーサルデザイン 20.情報デザインの流れ 表計算ソフトウェアの操作			3						
10	10	3章 コンピュータとは何か 21.コンピュータとは何か 22.ソフトウェアの仕組み 23.演算の仕組みとコンピュータの限界 24.アルゴリズムの表現 25.プログラムの基本構造Ⅰ									10月31日
11	8	26.プログラムの基本構造Ⅱ 27.発展的なプログラムⅠ 28.発展的なプログラムⅡ									

		29.モデル化とシミュレーション						
		30.シミュレーションの活用						

(繼續用紙)

所属		サンデザイン専門学校		学科	普通科	コース	F・P・Aコース		学年・年次	1年
教 科		科 目		単位数		標準単位数		担当者		
情報		情報 I		2		2		杉森 有美		
月	指導時数	単元・学習内容				レポート指導			試験範囲	備考
						回数	選択 番号	提出日		
12	4	4章 データを活用する 31.ネットワークとインターネット 32.インターネットの仕組み 33.サーバとクライアント 34.インターネット上のサービス				4			<div>↓</div>	
1	2	35.情報セキュリティ 36.データの形式								
2	6	37.データベースの活用 38.さまざまなデータモデル 39.データ分析 40.目的に合わせたデータの利用 5章活動して提案する 48.ピクトグラム								
3	2	50.Webニュースページ 52.気まぐれAI 54.プログラムで動きを再現 59.データベース								

《留意事項》

2025年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	普通科	コース	P・F・A	学年・年次	1年
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
総合的な探求の時間	総合的な探求の時間	1	1	近藤トシ江			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
				通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート		面接時数	全実施時間数34時間 標準面接時数 2時間		
	報告課題集						
定期試験	年間・学期 回	評定算出方法	テーマに基づいたレポート内容70点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	0%						
指導目標							
探究の見方や考え方を働かせて、課題を解決していくための資質や能力を育成すること ①各自決めたレポートのテーマについて理解するとともに、情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 ②団体行事を通じて進行方法、発見等を促し、事実をもとに多面的・多角的に考察し判断する力を養う。 ③社会に生きる大人としての自覚を深め、自らの意思で物事に取り組むことができる力を養う。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	4	学外研修オリエンテーション・調べ学習・参加	1				
5	2	生活体験発表会に向けた作文					
6	4	総合的な学習の時間テーマ決め、学習の進行方法、学習の進行					
7	2	スポーツレクリエーションⅠ要綱説明・夏休みの過ごし方					
8							
9	2	総合的な学習の時間テーマ決め、学習の進行方法、学習の進行	1		9月30日		
10	4	スポーツレクリエーションⅡ要綱説明・練習					
11	4						
12	2	総合的な学習の研究、レポート作成	2				
1	6	ファッションショー参加または見学学習					
2	2	総合的な学習の研究、レポート作成	2		3月1日		
3	2						

《留意事項》

2025年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	普通科	コース	P・F・A	学年・年次	2年
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
総合的な探求の時間	総合的な探求の時間	1	1	亀田佳保里・稲垣しのぶ			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
				通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート		面接時数	全実施時間数34時間 標準面接時数 2時間		
	報告課題集						
定期試験	年間・学期 回	評定算出方法	テーマに基づいたレポート内容70点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	0%						

指導目標							
探究の見方や考え方を働かせて、課題を解決していくための資質や能力を育成すること ①各自決めたレポートのテーマについて理解するとともに、情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 ②団体行事を通じて進行方法、発見等を促し、事実をもとに多面的・多角的に考察し判断する力を養う。 ③社会に生きる大人としての自覚を深め、自らの意思で物事に取り組むことができる力を養う。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	4	総合的な学習の時間テーマ決め、学習の進行方法、学習の進行	1				
5	2	生活体験発表会に向けた作文					
6	4	学外研修オリエンテーション・調べ学習・参加					
7	2	スポーツレクリエーションⅠ要綱説明					
8							
9	2	総合的な学習の時間テーマ決め、学習の進行方法、学習の進行	1		9月30日		
10	2	スポーツレクリエーションⅡ要綱説明・練習					
11	6						
12	2	総合的な学習の研究、レポート作成	2				
1	6	ファッションショー参加または見学学習					
2	2	総合的な学習の研究、レポート作成	2		3月1日		
3	2						

《留意事項》

2025年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	クリエイト科	コース	F・P・Aコース	学年・年次	3年
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
総合的な探求の時間	総合的な探求の時間	2	2	鳥谷 浩祐			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
				通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	1, 2	面接時数	全実施時間数	35時間	
	報告課題集				標準面接時数	2時間	
定期試験	年間・学期 回	評定算出方法	観点①、②、③をそれぞれ1/3づつ、合計したものを10割とし、総合的な評価とする				
定期試験の評価割合							
指導目標							
(1) 学習課題に関する概念的知識を獲得し、よりよい課題解決のために必要な知識や技能を身に付けている探究することの意義や価値を理解している (2) 実社会や実生活の中から問いを見出し、探究的な見方・考え方をを用いて、自分で課題を立て、情報を集め、整理してまとめている。 (3) 主体的・協働的(協同的)に課題の解決に取り組み、学習したことを自己の生き方に生かし、主体的にさらに高次の課題に取り組もうとしている。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	4	総合的な探求の時間オリエンテーション	2				
		総合的な探求の時間レポート第1回「テーマ決め」提出	2				
5	4	生活体験作文「生活体験発表会に向けた作文 進路について 進学・就職に関するガイダンス	6				
6		・スポーツレクリエーション大会 I 要綱説明 行事関連の練習、決め事等	2		6月30日		テーマ
7	4						
9	4	・スポーツレクリエーション大会 I 要綱説明 行事関連の練習、決め事等	6				
10		総合的な探求の時間課題進行 ・調べ学習 ・制作学習 ・体験学習	13				
11							
12							
1		ファッションショー参加、見学学習	2		12月10日		提出
2		総括	2				
3							

2025年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	サンデザイン専門学校 飯田邦彦						
学 科	クリエイト科		コース	アート&プロモーション		学年・年次	2
科目名	美術史	単位数	1	教科書	鑑賞のための西洋美術史入門	出版社	視覚デザイン研究所
月	指 導 内 容				指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			h		
4	P1～ P9	原始美術 歴史学習 旧石器、新石器時代 作品鑑賞 旧石器時代、ラスコー・アルタミラ洞窟 考察 有史以来からはじまる美術について			3		
5	P10～ P13	古代ギリシア美術 歴史学習 ポリスの成立から、アレクサンドロス大王まで 作品鑑賞 アルカイック期、クラシック期、ヘレニズム期における作品 考察 ヨーロッパ美術の根源となった「美」について			4		
6	P14～ P17	古代ローマ美術 歴史学習 ローマ帝国成立から東西ローマ帝国滅亡 作品鑑賞 ローマ美術 ポンペイの遺跡 考察 ギリシア美術とローマ美術との関係			4		
7	P18～ P37	初期キリスト教美術 歴史学習 旧新訳聖書の解説 キリスト教の布教 中世ヨーロッパ 作品鑑賞 ビザンティン、ロマネスク、ゴシック 考察 キリスト教美術の変化とギリシャ美術との相違			3		
8							
9	P38～ P40	初期ルネサンス 歴史学習 十字軍遠征 ルネサンス 作品鑑賞 初期ルネサンス 考察 人文主義 ルネサンスとは			4	前期末試験 原始美術 から初期 ルネサンス	
10	P41～ P57	盛期ルネサンス 作品鑑賞 盛期ルネサンス 考察 ルネサンスの作家が描くそれぞれの美の違い			4		
11	P57～ P93	マニエリスムからバロック美術 歴史学習 宗教改革 対抗宗教改革 作品鑑賞 マニエリスム 北方ルネサンス バロック美術 考察 ルネサンスの先、バロックへの変化			4		
12	P94～ P123	ロココ美術から写実主義 歴史学習 ブルボン王朝 フランス革命 作品鑑賞 ロココ、新古典主義、ロマン主義、写実主義 考察 宮廷絵画から革命を経て絵画はどう変わったか			3		
1	P124 ～ P159	印象派から後期印象派 歴史学習 産業革命 ジャポニズムシノワズリ 作品鑑賞 印象派 後期印象派 考察 豊かな色彩とは 表現の自由とは			2		
2	P160 ～ P195	フォービズムからシュルレアリズム 歴史学習 第一次世界大戦 第二次世界大戦 作品鑑賞 フォービズム キュビズム 構成主義 アール・ヌーボー ダダイズム シュルレアリスム 考察 2度の大战を経て人が考える美とは			2	学年末試験 盛期ルネ サンスから 印象派	
3	P196 ～ P210	現代美術 歴史学習 資本主義 グローバリズム 環境問題 作品鑑賞 ネオ・ダダ ポップアート ポストモダン			2		

《留意事項》

2025年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	サンデザイン専門学校 飯田邦彦						
学 科	クリエイト科		コース	アート&プロモーション		学年・年次	2
科目名	構成	単位数	2	教科書		出版社	視覚デザイン研究所
月	指 導 内 容				指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			h		
4		静物着彩 水彩による着彩 卓上静物を水彩によって描く。 水彩絵の具の使用方法を学ぶ 美しいモチーフの配置の仕方を学ぶ			3		
5					4		
6					4		
7		ボックスアート コーネルの作品を参考に、シュールリアリズムを通して、アッサンブラージュの技法を学び、箱の中に世界を作ること学ぶ。			3		
8							
9		構成 目玉クリップを使った色彩構成。 色彩理論の知識を生かし、配色パターンについて考える。 目玉クリップの特性を観察し、色彩の構成を考える。			4		
10					4		
11					4		
12		静物着彩 水彩による着彩 卓上静物を水彩によって描く。 美しいモチーフの配置の仕方を学ぶ 質感の違い、距離の違いなどを描き分ける。			3		
1					2		
2					2		
3					2		

《留意事項》

2025年度 学習指導計画（連携科目）

所 属	サンデザイン専門学校					記入者名	鳥谷浩祐	
学 科	クリエイト科		コース	Aコース		学年・年次	2	
科目名	構成	単位数	2	教科書		出版社		
月	指 導 内 容					指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容				h		
4		アニメーションガイダンス 授業課題1)パラパラアニメの作成 ・描画のための技術を身に付ける				14		
5		授業課題2)モーショントゥイーンを使ったアニメーションを制作する。 アニメーションのしくみを理解する ・効率の良いアニメーション作りを考える						
6		・ガイドレイヤー ・階層構造のアニメーション				16		
7		・文字を使ったアニメーション						
8								
9		授業課題3)映画予告を作成する。 素材と文字を使った効果的な動きを学ぶ。				20		
10		授業課題4)ストーリーアニメを制作する。 ・計画的に制作する方法を学ぶ。						
11								
12								
1		授業課題5)自由制作				20		
2								
3								

《留意事項》

2025年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	サンデザイン専門学校 飯田邦彦					
学 科	クリエイト科	コース	アート&プロモーション		学年・年次	3
科目名	コミックイラスト	単位数	2	教科書		出版社

月	指 導 内 容		指導時数 h	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			
4		イラスト制作① 「サンデザイン専門学校体験入学リーフレット」に使用するイラストを考える。 イラスト必要な基本を知る。 人物の表現、ターゲットを考えたモノづくり	9		
5			12		
6		「フランダースの犬」の表紙をコミックイラストで考える。 なじみのあるストーリーを元に表紙を制作する。 表紙として必要な作品の情報を伝えつつ、個性ある描写を目指す。	12		
7			9		
8					
9		画面作り「人ともとの背景」③ 画面の使い方、余白への意識 人とそれ以外のものとの関係性を考える。 奥行きのある画面作り	12		
10			12		
11			12		
12		コミック制作 8Pのマンガ制作 鑑賞者がわかりやすい世界観を考える。 鑑賞者が興味をひく構図を考える。	9		
1			6		
2			6		
3			3		

《留意事項》

2025年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	サンデザイン専門学校						
学 科	普通	コース	ファッションクリエイトコース			学年・年次	3F
科目名	ファッションコーディネート	単位数	2	教科書		出版社	

月	指 導 内 容		指導時数 h	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			
4		・オリエンテーション ・ファッションコーディネート 1	6		
5		・ファッションコーディネート 2	10		
6		・ファッションコーディネート 3	8		
7		・ファッションコーディネート4	4		
8			0		
9		・ファッション教育振興 要塞技術認定初級受験指導	8		
10		・ファッションショー作品製作	8		
11		・ファッションショー作品製作 ・ファッションショー 作品コーディネート	6		
12		・ファッションショー作品製作 ・香りのコーディネート	6		
1		・ファッション教育振興 要塞技術認定初級受験指導	6		
2		・まとめ	2		
3					

《留意事項》

2025年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	サンデザイン専門学校				記入者名	近藤トシエ
学 科	クリエイト科	コース	ファッションクリエイトコース		学年・年次	1F
科目名	ファッション造形 I	単位数	14	教科書		出版社

月	指 導 内 容		指導時数 h	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			
4		・オリエンテーション ・基礎縫い、テキスタイル概論 ・採寸 ・サイズ原型作成	12		
5		・課題① ブラウス ・全国高等学校課程か被服製作技術検定4級 練習 ・ブラウス型紙作成	12		
6		・ブラウス地直し、裁断 ・検定練習	20		
7		・検定練習	8		
8			0		
9		・ブラウス製作	12		
10		・ブラウス製作 ・オリジナル原型製作(製図)	16		
11		・オリジナル原型製作(製図) ・オリジナル原型製作(仮縫い・補正)	16		
12		・オリジナル原型製作(仮縫い・補正)	8		
1		・'ダーツ展開(8パターン)	8		
2		・パターン記号 ・全国高等学校課程か被服製作技術検定3級問題集 過去問題	16		
3		まとめ	4		

《留意事項》

令和7年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	サンデザイン専門学校					
学 科	クリエイト科	コース	ペットビューティコース		学年・年次	3P
科目名	家庭犬トレーニング	単位数		教科書	出版社	

月	指 導 内 容		指導時数 h	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			
4		犬種と基本のトレーニング			
5		基本のトレーニング 誘導で犬を動かす			
6		基本のトレーニング ターゲットで犬を動かす			
7		基本のトレーニング 動物行動学 犬具について			
8					
9		ハズバンダリートレーニング			
10		トレーニングプログラムの作成(ファッションショーの準備)			
11		作成したプログラムでトレーニングする(ファッションショーの準備)			
12		作成したプログラムでトレーニングする(ファッションショーの準備)			
1		作成したプログラムでトレーニングする(ファッションショーの準備)			
2		問題行動と行動修正			
3		振り返り(犬とゲーム)			

《留意事項》

令和7年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	サンデザイン専門学校							
学 科	クリエイト科		コース	ペットビューティーコース		学年・年次	2年次	
科目名	トリミング実習Ⅰ (動物美容実習2)	単位数	6	教科書		出版社		
月	指 導 内 容				指導時数	試 験	備 考	
	ページ	項 目・内 容			h			
4		ウィッグを使いブラッシング ウィッグを使い安定した鋏使いを学ぶ				18		
5		ウィッグを使い鋏使いを学ぶ シャンプーの確認 細かい所まで洗えるようにする。				24		
6		シャンプーの復讐 毛流を考えてバリカンの正しい入れ方を学ぶ				24		
7		ドライングの手順 見直し カット手順が解るようにする				18		
8								
9		鋏の使い方 立ち位置などを学ぶ 2人で1頭を仕上げる				18		
10		犬を理解して鋏 バリカンに位置が正しく入れれるようにする。 2人で1頭を仕上げる				30		
11		時間の配分 トリミングの手順を意識出来るようにする。 2人で1頭を仕上げる				18		
12		形作りが出来る様にイメージ出来る様にする。 2人で1頭を仕上げる				6		
1		カットの手順の復讐 2人で1頭を仕上げる				12		
2		トリミング実習の流れの復讐 2人で1頭を仕上げる				12		
3		全体の振り返り 2人で1頭を仕上げる				6		

《留意事項》

令和7年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	サンデザイン専門学校						
学 科	クリエイト科		コース	ペットビューティーコース		学年・年次	3年次
科目名	トリミング実習 (動物美容実習3)	単位数	6	教科書		出版社	

月	指 導 内 容		指導時数 h	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			
4		2年次の復習 振り返り トリミング実習にて2名又は1名で仕上げる	24		
5		シャンプーの見直し 確認 トリミング実習にて2名で1頭を仕上げる	18		
6		ドライングの確認 トリミング実習にて2名又は1名で仕上げる	24		
7		もつれや毛玉を確実に取れるようする トリミング実習にて2名又は1名で仕上げる	12		
8					
9		仕上りの形が頭で描けるよにする トリミング実習にて2名又は1名で仕上げる	24		
10		鋏のむき向きが正しく使えるようにする。 トリミング実習にて2名又は1名で仕上げる	18		
11		自分で仕上がりカットスタイルが理解できるようにする トリミング実習にて2名又は1名で仕上げる	12		
12		時間を配慮して仕上げられる様にする トリミング実習にて2名又は1名で仕上げる	18		
1		全体をまとめ時分の考えで仕上げれる力をつける。 トリミング実習にて2名又は1名で仕上げる まとめと復讐	12		
2		トリミング実習にて2名又は1名で仕上げる 総合の振り返りとまとめ トリミング実習にて2名又は1名で仕上げる	12		
3					

《留意事項》

2025年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	サンデザイン専門学校				記入者名	市川 麻波
学 科	クリエイト科	コース	アート&プロモーション、ファッションクリエイト、ペットビューティー		学年・年次	1
科目名	ビジネス能力	単位数	1	教科書	ビジネス能力検定ジョブパス公式テキスト	出版社 日本能率協会マネジメントセンター

月	指 導 内 容		指導時数 h	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			
4	P10～ P14	期待される社会人・職業人とは ・2つのじりつ ・働く意義を考える ・学生時代に身に着けておくこと	3		
5	P16～ P31	第1編 ビジネスとコミュニケーションの基本 第1章 キャリとの仕事へのアプローチ 第2章 仕事の基本となる8つの意識	4		
6	P32～ P43	第3章 コミュニケーションとビジネスマナーの基本 ・コミュニケーションの基本 ・コミュニケーションを支えるビジネスマナー ・感じの良い挨拶	4		
7	P44～ P53	・仕事中の態度と健康管理 第4章 指示の受け方と報告連絡相談 ・指示を受けるポイント ・報告連絡の仕方 ・忠告の受け方	3		
8					
9	P54～ P61	第5章 話し方と聞き方のポイント ・ビジネスの場にふさわしい言葉遣い ・敬語の種類と必要性 ・尊敬語と謙譲語の使い方	4	前期末試験 公式テキスト第1編第1～4章	
10	P62～ P69	・聞き方の基本 第6章 来客対応と訪問の基本マナー ・来客対応の基本 ・面談の基本マナー	4		
11	P70～ P77	・名刺交換と紹介の仕方 ・訪問の基本マナー 第7章 会社関係での付き合い ・会食マナー ・冠婚葬祭の基本	4		
12	P16～ P31	期待される社会人・職業人とは 働く意義を考える 学生時代に身に着けておくこと 自分のキャリアを考える	3		
1	P32～ P53	自分のキャリアを考える 自分のキャリアを考える	2		
2	P54～ P77	PDCAサイクルを振り返る 今後の目標を考える	2	学年末試験 第1編第1～7章	
3		今後の目標を考える 目標達成への道筋を考える	2		

《留意事項》

2025年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	サンデザイン専門学校				記入者名	市川 麻波	
学 科	クリエイト科		コース	アート&プロモーション、ファッションクリエイト、ペットビューティー		学年・年次	2
科目名	ビジネス能力	単位数	1	教科書	ビジネス能力検定ジョブパス公式テキスト	出版社	日本能率協会マネジメントセンター

月	指 導 内 容		指導時数 h	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			
4	P83～ P91	第2編 仕事の実践とビジネスツール 第1章 仕事への取り組み方 ・仕事は正確かつ計画的に ・定型業務と否定形業務 ・効率的合理的な仕事の進め方	3		
5	P92～ P121	・パソコンは仕事の基本 第2章 ビジネス文書の基本 ・社内文書と社外文書 第3章 電話応対 ・電話の受け方かけ方	4		
6	P122 ～ P135	第4章 統計・データの読み方・まとめ方 ・表とグラフ 第5章 情報収集とメディアの活用 ・情報の取捨選択 ・インターネット新聞からの情報収集	4		
7	P136 ～ P153	第6章 会社を取り巻く環境と経済の基本 ・日本経済の基本構造と変化 ・経済環境の変化と求められる人材の変化 ビジネス用語	3		
8					
9		過去問題演習	4	前期末試験 公式テキスト全頁	
10		過去問題演習	4		
11		過去問題演習	4		
12	P10～ P17	期待される社会人・職業人とは 働く意義を考える 学生時代に身に付けておくこと 自分のキャリアを考える	3		
1	P16～ P17	自分のキャリアを考える 自分のキャリアを考える	2		
2	P89	PDCAサイクルを振り返る 今後の目標を考える	2	学年末試験 ビジネス能力過去問題 から抜粋	
3		今後の目標を考える 目標達成への道筋を考える	2		

《留意事項》

2025年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	サンデザイン専門学校					
学 科	クリエイト	コース	A		学年・年次	3
科目名	英語実務	単位数	2	教科書	SIDE by SIDE	出版社 PEARSON Longman

月	指 導 内 容		指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容	h		
4		Review of Tenses: Imple Present Present Continuousz など	6		
5		Count/Non-Count Nouns Food Buying Food Being a Guest at Mealtime など	10		
6		Partitves 'Count/Non-Count Nouns Imperative Buying Food Descrbing Food など	8		
7		Future Teese:Will Time Expresions Might Telling About the Future など	4		
8					
9		Comparatives Shoould Possessive Pronouns など	8		
10		Superlatives Describing Pepole、Plase,and Things. Shopping in aDepartment Store.	8		
11		Imperative Directions. Getting Around Town.	8		
12		Adverbs Comparative of Adverbs. Agent Nouns If-Clauses	6		
1		Past Continuous Tense ReflexivePronous hil-Clauses. Descrbing Ongoing Past Activities.	6		
2		Could Be Able to Have got to Too+Adjective	8		
3					

《留意事項》

2025年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	サンデザイン専門学校						
学 科	色彩		コース	A・Pコース		学年・年次	1年生
科目名	色彩	単位数	1	教科書	色彩検定公式テキスト	出版社	色彩検定協会

月	指 導 内 容		指導時数 h	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			
4	32～42	色の三属性 色相環 トーン	3		
5		色の表示 PCCS 色立体	3		
	10～18	光と色 スペクトル			
6		光の現象	4		
	24～25	混色 加法混色と減法混色			
7		演習問題	2		
8		(夏期休暇)			
9	50～53	色彩心理 寒暖感～興奮色沈静色	3	1	
10	55～57	色の連想と象徴	4		
	58～65	色の対比と同化			
11	66～67	面積効果 主観色	5		
12		練習問題プリント 色名しらべ	2		
1		(冬期休暇)	2		
2		色相環と トーン 三原色で作成	3		
3		色相環とトーン 三原色で作成	1		

《留意事項》

2025年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	サンデザイン専門学校						
学 科	色彩		コース	A・Pコース		学年・年次	2年
科目名	色彩	単位数	1	教科書	色彩検定公式テキスト	出版社	色彩検定+株式会社学研プラス

月	指 導 内 容		指導時数 h	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			
4	70～83	色彩調和-色相配色	3		
5	84～95	色彩調和-トーン配色 アクセントカラー	3		
6	96～97	色彩調和-セパレーションカラー グラデーション 色彩調和-配色しらべプリント	4		
7	04～10	1	2		
8		(夏期休暇)			
9	72～80	パーソナルカラーとは パーソナルカラー4シーズン	3	1	
10		パーソナルカラー-4シーズンマップ	4		
11		パーソナルカラー-4シーズンマップ	5		
12		演習問題プリント	2		
1		(冬期休暇)	2		
2		パーソナルカラートレーニング実習	3	1	
3		パーソナルカラートレーニング実習	1		

《留意事項》

2025年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	クリエイト科	コース	ペット・アート	学年・年次	1年
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
数学Ⅰ	数学Ⅰ	1	1	入海 友嘉			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
数学Ⅰ		東京書籍	数学Ⅰ	通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	①②③④⑬⑭	面接時数	全実施時間数 35 時間		
	報告課題集				標準面接時数 時間		
定期試験	年間・学期 2 回	評定算出方法	試験成績70点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	70%						
指導目標							
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を養う。 ①数と式、図形と計量について基本的な原理、法則を理解するとともに数学的に問題を処理する技能を身に着ける。 ②日常生活における問題を解決するために数学をどのように応用させるのかの思考・判断する力を養う。 ③数学を活用しようとする態度、粘り強く考える姿勢を身に着ける。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲		備考
			回数	選択番号	提出日			
4	3	数と式 単項式と多項式 次数と係数 指数法則 多項式と連立方程式	1	①	4月30日	<div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div>		
5	3	因数分解 共通因数のくり出し 因数分解の公式 たすき掛け	2	②	5月31日			
6	4	実数 根号を含む式の計算 平方根 平方根の積と商 分母の有利化 演習	3	③	6月30日			
7	3	数と式 復習 前期試験対策 前期試験対策						
9	4	前期試験 前期試験返却と解説 実数 既約分数 有限小数・無限小数・循環小数 有理数と無理数の違い	4	④				
10	4	絶対値 演習 図形と計量 鋭角の三角比 直角三角形と三角比			10月15日			
11	4	30°、45°、60° の三角比 三角比の値 演習 直角三角形の辺と角 三角比の相互関係 90°－Aの三角比	5	⑬	11月15日	<div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div>		
			6	⑭				

2025年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	クリエイト科	コース	ペット・アート	学年・年次	2年
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
数学Ⅰ	数学Ⅰ	1	1	入海 友嘉			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
数学Ⅰ		東京書籍	数学Ⅰ	通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	⑰⑱⑳㉑㉒⑤⑥	面接時数	全実施時間数 35 時間		
	報告課題集				標準面接時数 2時間		
定期試験	年間・学期 2 回	評定算出方法	試験成績70点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	70%						
指導目標							
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を養う。 ①三角形の応用・データ分析・一次不等式について基本的な原理、法則を理解するとともに数学的に問題を処理する技能を身に着ける。 ②日常生活における問題を解決するために数学をどのように応用させるのかの思考・判断する力を養う。 ③数学を活用しようとする態度、粘り強く考える姿勢を身に着ける。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲		備考
			回数	選択番号	提出日			
4	3	三角形の応用 正弦定理 余弦定理 三角形の面積 演習	1	⑰	4月30日			
5	3	二次方程式と二次不等式 二次方程式の解 二次方程式の解の公式 二次方程式の解の個数と判別式	2	⑪	5月31日			
6	4	データ分析 データの散らばり 平均値 分散・標準偏差 演習 課題	3	⑱	6月30日			
7	2	課題の返却と解説 演習 前期試験対策						
9	4	前期試験 前期試験返却と解説 データの相関 散布図 相関関係 因果関係	4	⑳	10月15日	↓		
10	4	相関係数の計算 演習 数と式 一次不等式 不等号と一次不等式	5	⑤				
11	5	一次不等式の応用 文章問題と一次不等式 演習 不等式の応用 連立不等式 連立不等式の解	6	⑥	11月15日			

《留意事項》

《留意事項》

2025年度 学習指導計画（連携科目）

所 属	サンデザイン専門学校 渡邊 知恵子						
学 科	クリエイト科	コース	アート&プロモーション、ファッションクリエイト、 ペットビューティー		学年・年次	1年	
科目名	文書処理	単位数	2	教科書	日本情報処理検定協会問題集	出版社	日本情報処理検定協会

月	指 導 内 容	指導時数 h	試 験	備 考
	項 目・内 容			
4	「日本語ワープロ」(Wordソフト)の基礎 ローマ字入力や書式設定について概要を説明 USBの補助メモリーの取り扱い等説明、保存の習慣化	3		
5	Webタイピングソフトを使用したタッチオペレーション 入力練習(10分速度計測) 文字数は記入させ日々の上達を実感させる	4		
6	日本語ワープロ検定試験に向けての演習 ビジネス文書を、検定の配置基準に沿って、指導 問題集1～12	4		
7	検定試験 日本語ワープロ4級に挑戦させる レベルの高い生徒は3級に挑戦	3	検定試験	
8				
9	前期試験に向けて 表作成、編集を指導 前期試験の範囲である日本語ワープロ3級の練習	4	前期試験	
10	入力速度向上に向けて、ホームポジションの徹底 次回検定に向けて指導	4		
11	「表計算」(Excelソフト)の基礎 Excelソフトを使用して、セルの入力・編集・簡単な計算式・関数などを指導	4		
12	検定試験 表計算4級に挑戦させる 特に減点箇所に注意を払い、指導	3	検定試験	
1	IF関数、切り上げ・切り捨て関数などや並べ替えを指導	2		
2	後期試験 後期試験の範囲であるExcel3級問題をオリジナルプリントを参考にしながら指導	2	後期試験	
3	2年生に向けて 日本語ワープロ・表計算の2級範囲を問題集に沿って指導	2		

《留意事項》

2025年度 学習指導計画（連携科目）

所 属	サンデザイン専門学校 渡邊 知恵子						
学 科	クリエイト科	コース	アート&プロモーション、ファッションクリエイト、 ペットビューティー			学年・年次	2年
科目名	文書処理	単位数	2	教科書	日本情報処理検定協会問題集	出版社	日本情報処理検定協会

月	指 導 内 容	指導時数 h	試 験	備 考
	項 目・内 容			
4	「文書デザイン」(Wordソフト使用) 演習 Wordソフトを使用して表、イラスト含めたパンフレットを作成できる様指導	3		
5	図形描写・画像の挿入・表作成・文字装飾・レイアウトの指導	4		
6	文書デザイン検定試験に向けての演習 文書デザイン検定4・3級問題集1～12 検定の配置基準、減点箇所を注意を払い演習させる	4		
7	検定試験 文書デザイン3級に挑戦させる レベルの到達していない生徒は、4級の問題集に挑戦させる	3	検定試験	
8				
9	前期試験に向けて 前期試験の範囲である文書デザイン3級の完成度を上げる 3級合格者、レベルの高い生徒には2級を指導	4	前期試験	
10	文書デザイン3級の不合格者は苦手部分を克服させ、次回検定に向けて指導 合格者は2級に挑戦させる	4		
11	「プレゼンテーション」(PowerPointソフト)の基礎 PowerPointソフトの基本を押さえながらマルチメディアを利用した効果的なスライド作成 ができる様指導	4		
12	検定試験 レベルの達している生徒はプレゼンテーション検定4級・3級に挑戦させる	3	検定試験	
1	プレゼンテーション検定3級に向けての演習 問題集1～12 検定の配置基準、減点箇所を注意を払い演習させる	2		
2	後期試験に向けて 後期試験の範囲であるプレゼンテーション3級問題を時間内に処理できるように練習する 今年度まだ検定合格できていない生徒もできるだけ一つは取得できるよう奮起を促す	2	後期試験	
3	3年生に向けて 文書デザイン・プレゼンテーション2級を問題集に沿って指導	2		

《留意事項》

2025年度 学習指導計画（連携科目）

所 属	サンデザイン専門学校 渡邊 知恵子						
学 科	クリエイト科	コース	アート&プロモーション、ファッションクリエイト		学年・年次	3年	
科目名	文書処理	単位数	2	教科書	日本情報処理検定協会問題集	出版社	日本情報処理検定協会

月	指 導 内 容	指導時数 h	試 験	備 考
	項 目・内 容			
4	検定科目、「日本語ワープロ」「文書デザイン」「情報処理」「プレゼンテーション」「ホームページ作成」「スピード検定日本語・英文」の中から各自選択させ、検定合格に向けて奮起を促す	3		
5	検定試験に向けての演習 各自選択させた検定科目・級に応じて個別指導 毎時間実施したデータを共有に提出させ課題点とする	4		
6	検定試験に向けての演習 特に減点箇所注意を払い、指導 7月の検定試験に向けて、完成度を上げる	4		
7	検定試験 各自選択した検定に挑戦させる レベルの到達していない生徒は、次回の検定日に目標を合わせ奮起させる	3	検定試験	
8				
9	前期試験に向けて 提出された課題をチェックし、各自選択した検定科目・各級の完成度を上げる	4	前期試験	
10	検定試験・後期科目・級選択 7月検定の不合格者は再度同級を挑戦。合格者はレベルを上げて挑戦させる 検定後、後期科目・級を選択させ、後期の検定に向けて指導	4		
11	後期試験・検定試験に向けて 今年度まだ合格できていない生徒もできるだけ一つは取得できる様促す	4		
12	検定試験 各自の選択した検定に挑戦させる	3	検定試験	
1	後期試験 各自自己申告した検定科目・級を受験	2	後期試験	
2	卒業課題 3年間使用したアプリケーションソフト（Word,Excel,PowerPoint）を利用して、それぞれのソフトをリンクさせた卒業課題に取り組む	2		卒業課題
3				

《留意事項》

2025年度 学習指導計画（連携科目）

所 属	サンデザイン専門学校 渡邊 知恵子						
学 科	クリエイト科	コース	アート&プロモーション、ファッションクリエイト		学年・年次	3年	
科目名	情報処理	単位数	2	教科書	日本情報処理検定協会問題集	出版社	日本情報処理検定協会

月	指 導 内 容	指導時数 h	試 験	備 考
	項 目・内 容			
4	1年時実施したExcelを復習しながら、入力・編集・セルの書式・四則演算・よく使う関数の基礎を徹底する	3		
5	Excel関数 準2級以上に出題される切り上げ・切り捨て関数、IF、VLOOKUP関数をポイントとなるオリジナルプリントに沿って指導する	4		
6	Excelグラフ作成 統計データに沿っていろんなグラフを作成させ、グラフを用いることでデータの傾向を視覚的に捉えることができることを認識させる	4		
7	検定試験 各自選択した情報処理検定級に挑戦させる レベルの到達していない生徒は、次回の検定日に目標を合わせ奮起させる	3	検定試験	
8				
9	前期試験に向けて 前期試験の範囲となる情報処理検定2級レベル問題を演習する 提出された課題をチェックし、弱点克服し完成度を上げる	4	前期試験	
10	応用関数 情報処理検定準1級以上に出題されるDSUM・DAVERAGE・DCOUNT関数をポイントとなるオリジナルプリントに沿って指導する	4		
11	データベース 並べ替え・フィルタ・ピボットテーブルなど3D分析を指導	4		
12	検定試験 各自選択した情報処理検定級に挑戦させる	3	検定試験	
1	後期試験に向けて 試験範囲であるExcel上級レベル問題にTRY！させ完成度を上げる	2	後期試験	
2	卒業課題 Excelを使って、総務省のデータベースよりデータをダウンロードし、それぞれのデータに合ったグラフも作成させ卒業課題として提出	2		卒業課題
3				

《留意事項》

2025年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	サンデザイン専門学校					記入者名	鳥谷浩祐	
学 科	クリエイト科		コース	F・P・Aコース		学年・年次	2	
科目名	課題研究2	単位数	3	教科書		出版社		
月	指 導 内 容					指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容				h		
4		課題研究ガイダンス 立体造形の作り方 ・石粉粘土について ・骨芯、骨組みについて ・フィギュア用のへらについて				55		
5		「人物又は生き物のフィギュアを制作する」						
6								
7								
8								
9								
10		描写学習 「石膏デッサン」 ・明暗の調子 ・鉛筆(用具)の使い方・計測方法				20		
11								
12								
1		「風景を描く」 アクリル絵の具による表現				35		
2								
3								

《留意事項》

令和7年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	サンデザイン専門学校						
学 科	クリエイト		コース			学年・年次	2
科目名	課題研究(フラワー)	単位数	3	教科書	プリント配布	出版社	

月	指 導 内 容		指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			
4		オリエンテーション 花の種類について(講義)	9		
5		アレンジメントフラワー(カーネーションで作る動物のアレンジメント) アレンジメントフラワーのラッピング	9		
6		オリジナルフラワーリース (デザイン・材料集め・ベース制作)	12		
7		オリジナルフラワーリース(制作)	9		
8					
9		オリジナルフラワーリース(制作)	9		
10		クイリング作品(デザイン・制作)	12		
11		クイリング作品(制作)	12		
12		クイリング作品(制作)	6		
1		アロマワックスサシェ(制作)	9		
2		アレンジメント(制作)	9		
3		アレンジメント(制作)	3		

《留意事項》

2025年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	サンデザイン専門学校						
学 科	クリエイト科	コース	P・F・A			学年・年次	3年生
科目名	課題研究(ファッション)	単位数	3	教科書		出版社	

月	指 導 内 容		指導時数 h	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			
4		・オリエンテーション(全体説明、コース選択) ・コース分け後のオリエンテーション ・残布を使ったアイデア作品製作課題①「ピンクッション」 ・課題②「着せ替えぬいぐるみ製作」についての説明	9		
5		・ピンクッション製作 ・着せ替えぬいぐるみ 製作開始 採寸、衣装デザイン、パターン選択、裁断、縫製、仕上げ	12		
6		・着せ替えぬいぐるみ 製作 採寸、衣装デザイン、パターン選択、裁断、縫製、仕上げ	12		
7		・着せ替えぬいぐるみ 製作 採寸、衣装デザイン、パターン選択、裁断、縫製、仕上げ	6		
8			0		
9		・着せ替えぬいぐるみ 製作 採寸、衣装デザイン、パターン選択、裁断、縫製、仕上げ ・製作報告書作成	9		
10		・オリエンテーション(全体説明、コース選択) ・コース分け後のオリエンテーション ・残布を使ったアイデア作品製作課題①「ピンクッション」 ・課題②「布を使ったオリジナル作品」についての説明	15		
11		・課題②「布を使ったオリジナル作品」製作	12		
12		・課題②「布を使ったオリジナル作品」製作	6		
1		・課題②「布を使ったオリジナル作品」製作	3		
2		・製作報告書作成	3		
3					

《留意事項》

令和7年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	サンデザイン専門学校						
学 科	クリエイト		コース			学年・年次	3
科目名	課題研究(フラワー)	単位数	3	教科書	プリント配布	出版社	

月	指 導 内 容		指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			
4		オリエンテーション 花で織りなすファッション小物(デザイン)	9		
5		花で織りなすファッション小物(デザイン・制作)	9		
6		花で織りなすファッション小物(制作)	12		
7		浴衣の着付け講習 花で織りなすファッション小物(制作)	9		
8					
9		花で織りなすファッション小物(制作)	9		
10		空間デコレーション(デザイン・制作)	12		
11		空間デコレーション(制作)	12		
12		アレンジメントフラワー	6		
1		オリジナル作品制作(デザイン・制作)	9		
2		オリジナル作品(制作)	3		
3					

《留意事項》
